

平成 26 年度感染制御専門薬剤師認定試験 出題基準と範囲

1. 感染制御関連の薬剤師認定および法律
 - 1) 感染制御薬剤師制度について説明ができる。
 - 2) 医療関連感染制御の変遷を説明できる。
 - 3) 感染制御に関わる法制度を理解している。
2. 微生物の基礎知識
 - 1) 微生物(細菌、真菌、リケッチア、クラミジア、ウイルス)の概要を説明ができる。
 - 2) 病院・施設内感染に関連する主要微生物について説明ができる。
 - 3) 感染症法の類別感染症と原因微生物について説明できる。
3. 留意すべき細菌感染症の基礎知識
 - 1) 細菌感染症とその対策について説明ができる。
 - 2) 薬剤耐性菌感染症について説明ができる。
4. 留意すべき真菌感染症の基礎知識
 - 1) 真菌感染症その対策について説明ができる。
5. 留意すべきウイルス感染症の基礎知識
 - 1) ウイルスの形態、特徴、分類が説明できる。
6. 新興・再興感染症
 - 1) 新興・再興感染症について説明ができる。
 - 2) 耐性菌による感染症について説明ができる。
7. 抗菌薬の基礎知識
 - 1) β -ラクタム薬の種類、特徴、作用機序、有害作用などを説明できる。
 - 2) β -ラクタム薬以外の抗菌薬の種類、特徴、作用機序、有害作用などを説明できる。
 - 3) 合成抗菌薬の種類、特徴、作用機序、有害作用などを説明できる。
8. 抗真菌薬の基礎知識
 - 1) 抗真菌薬の種類、特徴、作用機序、有害作用などを説明できる。
9. 抗ウイルス薬の基礎知識
 - 1) 抗ウイルス薬の種類、特徴、作用機序、有害作用などを説明できる。
10. 薬剤耐性菌の基礎知識

1)抗菌薬耐性機構を説明できる。

2)話題の耐性菌を説明できる。

11.感染症とワクチン

1)ワクチンの種類を説明できる。

2)ワクチンの接種方法、接種量を説明できる。

3)ワクチンの保管、有効期限を説明できる。

12.感染症と臨床検査

1)微生物検査を理解している。

2)主な感染症の検査を説明できる。

13.抗菌薬の適正使用

1) 抗菌薬投与前に把握しておくべき患者状態について理解している。

2) 初期治療における抗菌薬の選択について説明ができる。

3) 治療効果の判定と抗菌薬の見直しについて説明ができる。

4) 感染予防としての抗菌薬の投与について説明ができる。

5) PK-PD 理論を理解して説明ができる。

6) TDM が必要な薬剤を説明できる。

7) 薬物動態に基づいた投与設計を理解している。

8) 抗 MRSA 薬およびポリコナゾールの TDM について説明ができる。

14.抗菌薬の使用上の留意点

1) 抗菌薬化学療法的基本原则について説明ができる。

2) 抗菌薬の投与方法、投与量、投与期間について説明ができる。

3) 腎障害、肝障害時の投与方法について説明ができる。

4) 小児、高齢者、妊婦への投与の留意点について説明ができる。

5) 抗菌薬の安全性、特徴的副作用について説明ができる。

6) 抗菌薬の主な相互作用について説明ができる。

7) 腎障害時における抗菌薬の適正使用が説明できる。

15.感染症の予防とその治療

1) 感染症の予防と治療の基本を理解している。

2)敗血症の原因、疫学、診断、治療、予防などを説明できる。

3)好中球減少症の定義、原因、診断、治療を説明できる。

4)肺炎の病態、診断、原因微生物、予防、治療などを説明できる。

5)インフルエンザの診断、予防、治療などを説明できる。

- 6)結核の予防、治療を説明できる。
 - 7)腸管感染症の病原体、治療、予防などを説明できる。
 - 8)尿路感染症とカテーテル管理について説明できる。
 - 9)尿路感染と緑膿菌の関連を説明できる。
 - 10)複雑性尿路感染症について原因、薬剤選択を説明できる。
 - 11)性感染症の診断と治療が説明できる。
 - 12) HIV の感染経路について説明ができる。
 - 13)標準予防策と針刺し事故防止対策について説明ができる。
 - 14)HIV 暴露後の予防対策について説明ができる。
 - 15)HIV の病院感染対策について説明ができる。
 - 16)ウイルス性肝炎の疫学、診断、治療、予防などを説明できる。
 - 17)カンジダ症の病態、診断、治療、予防などを説明できる。
 - 18)疥癬の生態、症状、診断、治療、予防を説明できる。
 - 19)手術部位感染症の予防を説明できる。
 - 20)小児における発疹性疾患の種類、症候、微生物、診断治療を説明できる。
 - 21)小児における呼吸器および消化器感染症の種類、症候、微生物、診断治療を説明できる。
 - 22)その他の小児期感染症の症候、微生物、診断治療を説明できる。
- 16.エビデンスに基づいた感染対策
- 1) 標準予防策と感染経路別予防対策が説明できる。
 - 2) 手指衛生について説明ができる。
 - 3) 血管内留置カテーテル感染対策について説明できる。
 - 4) 尿路留置カテーテル感染対策について説明ができる。
 - 5) 手術部位感染防止(SSI)について説明ができる。
 - 6) 病院環境整備と環境微生物調査について説明ができる。
 - 7) 医療器材の洗浄と滅菌方法について説明ができる。
 - 8) エビデンスが明らかでない感染対策について説明ができる。
- 17.感染制御とガイドライン
- 1)CDC のガイドラインについて説明できる。
- 18.サーベイランスとアウトブレイクへの対応
- 1)サーベイランスの定義、構成者、流れを説明できる。
 - 2)サーベイランス・システムの構築、評価を説明できる。

3)疫学調査を説明できる。

19.洗浄・滅菌の実際

1)洗浄の目的、作用、方法を説明できる。

2)滅菌法の種類、特徴、方法を説明できる。

3)滅菌の確認手段を説明できる。

20.消毒薬の適正使用

1)生体消毒薬の種類、特徴、使用濃度を説明できる。

2)器材・環境に対する消毒薬の使い分け、消毒法を説明できる。

3)消毒方法を説明できる。

4)消毒薬の留意点を説明できる。

5)消毒薬を誤使用時の症状と対応を説明できる。

21.注射薬の無菌調製

1)投与リスク分類を説明できる。

2)汚染リスク別に該当する注射薬の調製を説明できる。

3)米国における輸液調製ガイドラインを説明できる。

22.医療廃棄物

1)医療廃棄物の分類を説明できる。

2)感染性廃棄物、非感染性廃棄物の処理法、現状を説明できる。

3)在宅医療廃棄物の取り扱いを説明できる。

23.感染対策の経済性

1)品質管理のためのフレームワークを説明できる。

2)経済性の評価方法を説明できる。

3)病院感染発生による増分原価を説明できる。

4)感染対策への投資と効果を説明できる。

24.病院感染対策のネットワーク化

1)ネットワーク構築の重要性を説明できる。

2)ネットワーク化の活動内容を説明できる。

25.薬剤師の役割

1)ICC と ICT の構成員と役割を説明できる。

2)ICT の業務を説明できる。

3)ICT における薬剤師の役割を説明できる。

参考図書

1. 薬剤師のための感染制御マニュアル 日本病院薬剤師会編第3版
2. 抗菌薬使用ガイドライン 日本感染症学会・日本化学療法学会編
3. 消毒と滅菌のガイドライン 小林寛伊編
4. 抗菌薬適正使用生涯教育テキスト 日本化学療法学会編
5. 各種CDCガイドラインなど